

## 部長会議付議事案書（報告）

（令和6年2月6日）

提案課名 情報指令課

報告者名 小室 俊之

事案名	映像通報システム(Live119)の先行運用について	資料 <input checked="" type="checkbox"/>
提案趣旨	<p>現在、119番通報は、主に電話による音声通話を、指令員が受信するとともに、応急手当等の口頭指導を実施していますが、秦野市・伊勢原市共同消防指令センターに導入するLive119は、119番通報に映像を加えることで「見える化」を図り、指令員が通報を受ける際に現場映像を確認し、質の高い出動指令を行うことが出来ます。また、通報者に対し、映像を活用して応急手当の実施要領を説明するとともに、その実施状況についても確認できるため、より効果的な応急手当が可能になります。</p> <p>令和7年4月1日の秦野市・伊勢原市共同消防指令センター運用開始に先立ち、令和6年度に本システムを運用開始し、最適な運用手順の確認や広報による利用率の向上を図り、本運用に備えるものです。</p>	
概要	<p>1 概要</p> <p>映像通報システム（以下、「Live119」という。）は、スマートフォンからの119番通報者に、動画の送信を依頼し、消防隊等が現場到着前に、現場の映像を指令センターで、受信するシステムです。</p> <p>Live119の導入により、音声による119番通報のみでは災害状況等を把握することが難しい場合でも、指令員は映像により現場の状況を確認できます。また、通報者自身が現在地を把握していない場合についても、周辺の景色等を指令員が映像で確認することで、迅速に災害発生場所を確定することが出来ます。</p> <p>更に、心肺蘇生法などが必要な緊急性の高い事案では、通信指令員が、現場映像を確認しながら、通報者に対して応急手当を指導することが可能になると同時に、通報者は、説明動画を確認しながら応急手当を適切に実施することが可能になります。</p> <p>2 期間</p> <p>令和6年5月中旬から令和7年3月31日（月）まで</p> <p>3 内容</p> <p>(1) Live119の使用率</p> <p>(2) Live119を活用した場合の接続成功率及び接続不能の原因調査並びに、現場活動の支援状況調査</p> <p>(3) Live119の課題抽出</p>	
経過	<p>令和5年 8月 事業者によるシステム説明会</p> <p>〃 11月 藤沢市消防局への視察</p>	
今後の進め方	<p>令和6年2月 運用マニュアル策定</p> <p>〃 議員連絡会への報告（16日）</p> <p>〃 4月 事業者と実証実験に関する協定の締結</p> <p>〃 5月 運用開始</p> <p>令和7年4月 秦野市・伊勢原市消防指令業務共同運用開始</p>	

# Live119 – 映像伝送システム –

## 映像で素早く伝える119番通報

### Live119とは？

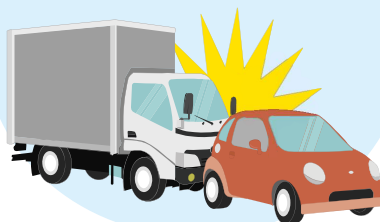
電話では伝えることが難しい緊急時の状況をスマートフォンからリアルタイムに消防へ伝えることができる新しいシステムです。消防が必要と判断した場合に通報者様に撮影を依頼させていただきます。

### こんな時に利用

#### 火災・災害



#### 事故・救助



#### 急病・怪我



### 利用開始までの流れ

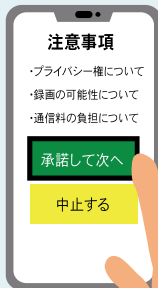
※アプリをダウンロードしていただく必要はありません。

#### Step1



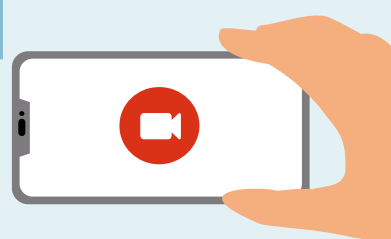
消防からのSMS(ショートメッセージ)が届いたら本文のURLにアクセスします。

#### Step2



画面の案内に従って操作し、撮影のための準備を行います。

#### Step3



画面中央のビデオカメラボタンをタップし、撮影を開始します。  
※撮影中の通信料は通報者様のご負担となります。

**迅速な救急・消防活動のために、ご協力ください**

〇〇市消防本部

TEL : xxxx-xx-xxxx FAX : xxxx-xx-xxxx